

### はじめに

瀬戸内市が誕生して10年目となる平成26年度を迎えます。瀬戸内市の発展に向けたさらなる取り組みと併せて、地方交付税の減額に対応するための改革を同時に進めていかなければならないという、難しいかじ取りを求められる時期です。

限られた時間の中で先を見据え、何を行い、何を見直すのかを見極めていく必要があります。

瀬戸内市の発展的存続を担う人づくりを積極的に行うため、市役所職員の人材育成、地域の担い手となる組織・人材の育成に向けた準備、将来を担う子どもたちの教育などに積極的な投資を行っていきます。

### 誕生10周年事業

平成26年度の1年間を「瀬戸内市誕生10周年」として、さまざまな行事に取り組み、ひととしており、庁内横断的なワーキンググループによる検討を進めています。

現在の計画としては、11月1日を中心に記念行事を開催する予定です。

また、組織発足から同じく10年目を迎える瀬戸内警察



瀬戸内市のイニシャル「S」の文字をモチーフにした市章

署、瀬戸内市社会福祉協議会、瀬戸内市商工会などと連携し、市内外に広く瀬戸内市の魅力を発信していきます。

### 機構改革

平成26年度からの市の機構については、市の重要施策である錦海塩田跡地活用事業をより強力に推進するため、錦海プロジェクト推進課を総合政策部から市長直轄組織に変更し、意思決定の迅速化を図るとともに、部長級の担当参与を置くことにより体制を強化します。

また、市長、副市長が業務を円滑かつ確実に執行できるよう調整・管理を行い、市長に直結した市政情報の収集、発信をより充実させるため、総務課の秘書業務とまちづくり推進課の広聴広報業務を統

合して、総務部に秘書広報課を新設します。

総合政策部では、今後のまちづくりの大きな課題となっている地域公共交通のあり方、市民活動応援補助金の見直しと、それにかわる新たな交付金制度の導入、公共施設再編に係る整備方針などを一つの所管で一体的に検討するため、経営企画課の企画部門をまちづくり推進課に統合します。それに伴い、名称をまちづくり推進課から企画振興課に、経営企画課から財政課に改めます。

### 平成26年度当初予算(案)

当初予算については、中期財政計画の財政運営適正化計画に基づいた各部署への一般財源枠配分方式による予算編成としました。

1月31日に事業者に対し許可がなされました。今後の工事施工に当たり、検査権限や不適合な施工に対する措置命令などの監督処分権限を有する県と連携して、適正な施工がなされるよう、事業者を指導していきます。

市と事業者が締結する施行協定、土地賃貸借契約については、適切な内容で締結できるように、弁護士の助言、指示のもとに協議、交渉を進めています。

また、土地貸付料については、工事期間中は年額1億円、その後の売電業務開始後は年額4億円を確保することとしています。

送電線設置工事については、事業者において、西大寺変電所へ接続する施工計画に基づき、中国電力や沿線自治体との具体的協議や事前準備のための測量が進められており、市も沿線自治体との調整に協力しているところです。

また、住民説明会を2月7日から14日の間に開催し、延べ88人の参加がありました。



平成25年7月に行われた本庄地区地域防災研修会

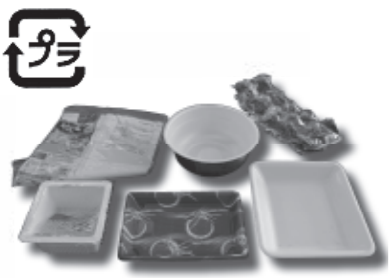
### 錦海塩田跡地活用事業

事業成立に最も重要な許可である県条例に基づく開発行為の許可については、基準を満たすことが確認され、適正な事業の遂行が可能であると

### 家庭ごみ分別区分の統一

説明会で寄せられた意見については、事業者と協議しながら、丁寧に対応していきたいと考えています。市としては、4月の工事着手の目標に向けて事業が進捗するよう、状況を逐次把握するとともに、着実に事業が実施されるよう、事業者に助言や指示を行っていきます。

邑久・牛窓地域と長船地域で異なっている家庭ごみの分別区分を4月から統一するため、諸準備を進めています。分別区分を統一することにより、より一層効率的にごみ



プラスチック製容器包装識別マーク(プラマーク)の例(左)と「その他プラスチック」の例

### 用語の解説・備考

#### 瀬戸内市が誕生

平成16年11月1日に、牛窓町、邑久町、長船町が合併し、瀬戸内市となった。総面積は125.53平方キロ(県内第17位)。市の花はさく。市の木はオリブ。市の鳥はメジロ。市の海産物はカキ。

#### 地方交付税の減額

合併による算定の特例終了のため、平成27年度から平成32年にかけて段階的に減額となる。

地方交付税は、瀬戸内市の一般会計歳入全体の約3分の1を占める主要な財源で、平成26年度当初予算では50億9,000万円。

#### 錦海塩田跡地活用事業

錦海塩田跡地活用基本計

画では、錦海塩田跡地全体の約500畝の敷地のうち、メガソーラー発電所を建設する敷地は約250畝を予定。この敷地に太陽電池パネルを敷設することにより、最大230MWpの国内最大級のメガソーラー発電所の建設を予定している。発電所の建設工事は、5年程度での終了を目指す。

#### 市長直轄組織

市長の強力なリーダーシップの下に、市長の権限に属する事務を迅速に遂行するため、部に属せず、市長の直接命令下に置かれる組織。

#### 一般財源枠配分方式

各部署(課)が担当する事業の重要度を再度確認・検討しながら配分し、編成する方式。限られた財源を有効に配分することができ、一定の成果があった。

#### 自主防災組織率

自主防災組織が組織されている地域の世帯数が全世帯数に占める割合。自主防災組織とは、住民が

処理を行うとともに、ごみ減量化の推進に向けた一つの段階になるものと考えています。具体的には、現在の分別区分を基本としながら、新たに追加するものとして「その他プラスチック」と「ペットボトル」を月2回、邑久・牛窓地域で「粗大ごみ(可燃)」と「粗大ごみ(不燃)・小型家電」を隔月で収集します。

### 進出企業への補助金

企業誘致を促進するための補助制度として、本市では、企業立地促進奨励金と企業団地分譲促進補助金の2つを制度化しています。

現在、長船町土師の宮下工業団地に進出している大和紙器株式会社については、7月の操業開始に向けて新工場の建設を急ピッチで行っているところですが、

同社に対する補助制度の適用としては、各補助制度の交付要件を満たすことにより、まず、平成26年度において、企業団地分譲促進補助金の

1億1,770万円を交付し、その後、平成27年度において、企業立地促進奨励金を交付する予定としています。



工場の建設が進む宮下工業団地

### 新病院建設

新病院の建設については、平成26年秋頃には着工できる見込みです。2月18日には造成工事の入札も終わり、3月中旬から造成工事が始まります。

### 「軍師官兵衛」について

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送が始まり、黒田家「礎」の地である福岡地区を訪れる観光客が増えています。

市では、これまで地域と協働しながら地域資源の見直しや研修会の実施、長船駅や福岡地区の誘導看板等設置、パンフレットやのぼり、マスコットキャラクター「備前福岡官兵衛くん」の作成、旅行者や出版社などへのPR、仲崎邸内への関係パネルの設置などを行うとともに、東京ビックサイトで開催された観光庁主催の「タビカレ学園祭」に出展し、日本刀や備前福岡のPRを行ってきました。また、JR西日本と連携しての宣伝活動も検討していくことにしています。

今後、地元の皆さんと連携しながら地域の活性化に努め



「備前福岡官兵衛くん」のパネルが設置されている妙興寺(長船町福岡)

### 火災救急の概況など

火災の状況ですが、平成25年中の火災は建物火災11件、林野火災3件、船舶火災2件、その他の火災5件の計21件発生し、前年と比較し4件増加しています。救急の状況ですが、平成25年中に1,604件出動し、1,564人を搬送しています。前年より出動件数は3件増加し、搬送人員は15人減少しています。

住宅用火災警報器の設置義務化に伴い、設置率の向上を目指し、市内の全世帯を戸別訪問し、設置調査と普及啓発活動を進めてきました。

今後とも、不在者宅と未設置宅の戸別訪問を継続し、全戸設置に向け普及啓発活動を続けていきます。

### 権利擁護センターの新設

障害者、高齢者、児童に關する虐待防止関連法の制定に

1人が保育園への転園を希望したことから、平成26年度は園児が3人となる状況となりました。教育委員会としては、園児数が極端に少ない園では、集団生活の中で子ども同士が切磋琢磨する機会の減少、人間関係の固定化など教育の質の低下につながる懸念があると考えています。

このことを踏まえ、在園児の保護者と協議を行った結果、3人揃って牛窓東幼稚園への転園を希望したことから、先の教育委員会で平成26年度から牛窓西幼稚園を休園とすることとしました。

### 牛窓西幼稚園の休園

牛窓西幼稚園においては、新入園児の募集に対し入園希望が無く、在園児4人の内の

### 備前長船刀剣博物館の取り組み

黒田官兵衛を主人公としたテレビドラマも始まり、長船町福岡エリアへの観光客の増加とともに、博物館へも足を延ばす人が増えています。

今後、黒田官兵衛と備前刀の関わりについてのパネルを作成したり、さまざまな戦国

武将たちと備前刀のエピソードを交えた「名将と日本刀の素敵な関係」と題した展覧会を3月13日から5月11日まで開催する予定としています。

### 新図書館整備

新図書館整備については、平成25年11月までに基本設計を終えました。3月末の完了を目標に、実施設計を進めているところです。

新図書館整備計画地にあつた邑久郷土資料館については、12月6日に解体工事を終え、現在は、埋蔵文化財の発掘調査を3月末の完了を目標に進めています。



埋蔵文化財の発掘調査

自主的に連帯して防災活動を行う任意団体。自治会(町内会)などが母体となる場合が多い。

### その他プラスチック

その他プラスチック製容器包装(プラマークが目印)。食料品や日用品のプラスチック製の容器、ビニール袋や包みなど。

### 企業立地促進奨励金

企業の立地を促進し、産業の高度化と雇用機会の拡大を図るため、先端技術工場、一般製造工場または研究所などの建設に対し、固定資産税評価額と市内在住新規雇用者数を算定基礎にして奨励金を交付する制度。

### 企業団地分譲促進補助金

企業団地の早期分譲を実現し、雇用機会の拡大および地域振興を図るため、企業団地に工場などを建設した者に対し、土地取得金額の20%または30%を補助する制度。

### タビカレ学園祭

タビカレとは、国内の新

しい観光地づくりの取組を応援し、今までにない78の観光地の魅力開発と旅行商品化を推進するため、国土交通省観光庁が開設した(インターネット上の)ポータルサイト。

「今までにない国内観光の魅力を遊んで学ぶ場」として、「日本タビカレッジ」(通称「タビカレ」という架空の教育機関をコンセプトとしている。タビカレ学園祭では、その集大成として、78地域が集結し、その成果を披露した。

### タブレット型コンピュータ

液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載し、ペンや指で操作するパーソナルコンピュータ。

### 校務支援システム

学校や児童生徒に関するさまざまな情報の電子化を支援するシステム。これにより教職員間での情報共有や、業務の引き継ぎがしやすくなる。

### ICT教育環境の整備

学校教育において、今やI



牛窓西幼稚園の在園児が転園する牛窓東幼稚園